

原発

問題 連絡会

ニュース

第 321 号
2020 年
6 月 20 日

原発問題全道連絡会

〒060-0909

札幌市東区北9条東1丁目2-22 道労連内

電話: 011-777-11060、F: 777-1061

郵便振替

02730547617

コロナ渦のもとで 社会的条件に見合った活動で

原発ゼロ実現・核燃サイクルからの撤退の合意形成をめざそう

道原発連―6月11日、第5回常任理事会で当面の方針を確認―

原発問題全道連絡会（道原発連）は6月11日、第5回常任理事会を イクルからの撤退の合意形成をめざし、条件を活かして頑張ろうと、当
開催し、コロナ禍のもとでも条件を活かしつつ、原発ゼロ実現、核燃サ 一面の活動方針を確認し合いました。

その1、「3つの蜜」を避けつつ、毎月11、26日行動で、原発ゼロ、泊・大間・幌延ストップの運動を広げよう

- ① 毎月の11日行動（イレブンアクション）、26日行動（チェルノブイリデー）で、原発ゼロ基本法早期制定、泊原発再稼働ストップ、大間 原発訴訟支援、幌延深地層研究計画延長中止、地下施設の埋め戻し、地上施設の閉鎖撤去へ世論を広げよう。
 - ② 北電の第96回定時株主総会（6月25日、午前9時受付開始、10時開会）会場前宣伝行動に参加し役割を發揮しよう。
 - ③ 北電本社前で再稼働申請撤回せよ！アピール行動（7月8日昼休み、創成川公園）でも役割を發揮しよう
 - ④ 「チェルノブイリと福島を考える講演会」を計画し、原発と人間社会が共生できないことを学び広げよう。
 - ⑤ 原発問題後志住民の会（大田 勤共同代表他）と泊原発ストップの共同の運動を広げよう。
- その2、「泊原発を再稼働させない北海道連絡会」などの共同行動で役割を發揮しよう

- ① 泊原発、再稼働するな！させるな！の共同行動の成功に役割を發揮しよう。
 - ② 「泊原発の再稼働を認めない道民署名」（仮称）など共同の取り組みに役割を發揮しよう。
 - ③ 脱原発をめざす後志の住民運動団体との共同の行動でも役割を發揮しよう。
- その3、福島との連帯と支援の活動にも継続的に取り組もう

- ① 「事故10年目の福島を見る」全国交流集会 in 福島 に代表を派遣しよう！
 - ② 福島原発事故を題材にした小説「大地の歌ごえ」（たなか もとじ著、本体価格2200円）の購読を広げよう。
- その4、道原発連の組織の建設・強化に共同で力を發揮しよう

- ① 毎月道原発連加盟団体、加入会員を増やそう。そのために毎月1回統一行動に取り組もう。
- ② 原発・核燃サイクル問題のわかりやすい簡易パンフや簡易漫画、簡易動画などの作成にチャレンジし、運動の日常化をはかろう。



原子力規制委員会による日本原燃の六ヶ所再処理工場の「審査合格」判定に抗議し、建設中止と核燃料サイクルからの撤退を求める声明

2020年6月18日

原発問題全道連絡会常任理事会

5月13日、原子力規制委員会は定例会合で、日本原燃の使用済み核燃料再処理工場（青森県六ヶ所村）が新規基準に適合していると認める「審査書案」を委員5人の全会一致で了承した。日本原燃では、2021年上期の完工をめざすとしているが、それ自身の見通しも不明確である。

そもそも核燃料再処理工場は、いわゆる「核燃料サイクル」なるものの一環として構想されてきた。天然ウランのなかで核分裂にあずかるウラン235は0.72%でウラン238が99%以上を占める（軽水炉用濃縮ウラン燃料でもウラン235は2～3%）。非核分裂性ウラン238原子核は、中性子を吸収してプルトニウムに転換し、これは核分裂性物質である。しかも、プルトニウムを主核分裂燃料（MOX燃料）とするいわゆる「増殖炉」では核分裂するプルトニウム以上にプルトニウムを生成（増殖）することができるというものである。これは原料の中で役立たなかったものをさらに処理して利用しようとする典型的な「連想・類推」による構想といえる。だが、こうした「増殖炉」構想は、「高速増殖炉」（高速中性子を使うとの意味）“もんじゅ”の事故をはじめとして諸外国でも繰り返し事故が起きていきづまり、プルトニウムは原子爆弾の原料以外に使い道のないものになっている。ところが、我が国は英国・仏国に委託した使用済み核燃料再処理の結果としてすでに原爆6000個分に近い約46トンものプルトニウムを保持していて、国際的には疑惑の目で見られている。このため内閣府の原子力委員会は、2018年7月に「プルトニウム保有量を減少させる」との基本指針を決定しており、これ以上プルトニウム所持を増やしてはならない。操業すれば年間最大800トンの使用済み燃料を再処理し約7～8トンのプルトニウムを取り出す性能があるとされる六ヶ所再処理工場は、操業それ自体不要・無用である。

プルトニウム取り出しの主要な目的である「増殖炉」が見通しのないもつで、MOX燃料によるプルサーマル計画が推し進められている。しかし、これも危険な政策である。プルトニウムも核分裂に関与させるプルサーマルは、過酷事故での影響の重大性、使用済みウラン燃料より放射能が高い使用済みMOX核燃料の処理の難しさ、MOX燃料製造の高価さなど様々な困難が指摘されている。「増殖炉」計画の破綻に伴って構想され始めたものだろう。

核燃料再処理のもう一つの側面、高レベル核廃棄物の分離について言えば、その行き先・処分方法に国民的合意がないことを指摘しなければならない。いわゆる「地層処分」についていえば、日本国内に地層処分の適地を見出すことは、地質学的に不可能に近く、わざわざ廃棄物を濃縮する意義がない。

核燃料再処理のプラント自身についていえば、これは化学プラントとして困難なものである。再処理工場は、原発の使用済み核燃料から、燃え残ったウランと新たに生まれたプルトニウムを取り出す「放射能化学工場」とも呼ばれ、原発以上に未熟で危険な技術と指摘されている。さらに操業するだけで普通の原発と比べても桁違いに多い放射性物質を環境に放出する。液体の廃棄物も様々な工程から発生し、これらの一部も海洋放出管から海に放出され、日本原燃の管理目標値では、トリチウム（三重水素）が年間9700兆ベクレルに及ぶ。これは福島第一原発が事故前に基準としていたトリチウムの放出量、年間2兆ベクレルの約440倍にも及ぶ。

特に、このような危険な放射性物質を取り扱うプラントに極めて多額の費用をかけ、それを電気料金に上乗せすることの合理性を疑うものである。1993年に総工費7600億円を着工、97年完成の予定が、設計変更やトラブル続きで、竣工延期を24回も繰り返し、すでに着工から27年も経過し、施設の老朽化さえ指摘されている。

原子力規制委員会は、日本原燃の計画書を審査したのであろうが、問題はこの再処理工場の意義と妥当性にある。原発問題全道連絡会はこの審査結果に抗議し、再処理工場の建設中止と核燃料サイクルからの撤退を求めるものである。

以上

原発問題北海道連絡会は、5月13日に規制委が、六ヶ所再処理工場の審査で「合格」としたことに抗議し、建設中止と核燃料サイクルからの撤退を求める声明を発表し、6月19日原子力規制委員会の更田豊治委員長宛に送付しました。声明全文は左記の囲みの通りです。

小説「大地の歌ごえ」45冊普及できました

引き続き第3次分の普及にご協力ください

前号のニュース第320号で、福島第一原発事故の問題を取り上げた小説・「大地の歌ごえ」（たなか もとじ著、定価2200円＋消費税、新日本出版社発行）のご購読を呼びかけ、6月早々に注文書を作

成し、加盟団体や会員に呼びかけました。第一次分30冊と第二次分15冊は6月17日までに完売できました。現在第3次分の注文を受け付中です。引き続きご協力をお願いします。

この小説の普及のきっかけは、今年3月11日、道原発連と国民大運動北海道実行委の共催で、JR札幌駅前「東日本大震災・福島原発事故9周年・追悼と連帯のメモリアル行動」の取り組みがありました。この行動の様子が翌日3月12日付の「しんぶん赤旗」社会面15頁に掲載され、その記事を読まれたこの小説の著

者「たなか もとじ」さんが、道原発連に「どうぞお読みください」と小説「大地の歌ごえ」1冊を送呈下さいました。驚きつつさっそく読み感動し、一人でも多くの人に読んでもらおうと役員会に提案、まず第1次分として30冊の普及をめざしました。最初の30冊は、新日本出版社から入荷後、翌日に完売となり、続いて

第2次分の15冊も数日中に完売となりました。その後も注文が寄せられており、第3次分の普及に取り組むことになりました。ご協力いただける方は、別記「ご注文の要領」の①から⑥に従って注文先に必要事項をお知らせください。

たなか もとじ著

定価：2200円（＋税）

新日本出版社発行

『大地の歌ごえ』のご購読を

原発事故によって引き裂かれようとする家族の行方――。

東日本大震災の津波で4歳の娘を失った里美と洋平夫妻。洋平は福島原発事故の廃炉作業にあたっている。2年後、事故直後に生まれた息子に甲状腺異常が認められ、里美は夫と別居し東京へ避難するが……。今も原発事故の被害に苦しむ人たちの連帯と家族の再生を描く感動の長編。

第3次分の注文を受け付け中です。ぜひご注文を。

【別記】ご注文の要領

- ①注文される方のお名前、または団体名
- ②本の送付先の住所
- ③注文冊数
- ④注文先 ～ 次のFAX又はeメールで
Fax011-762-6543(佐藤事務局長宅)
genpaturen@gmail.com(原発連事務局のメールアドレス)
- ⑤本のお届け方法とお支払い方法
・レターパック又は送付先へお届けします(レターパックの場合は、振替用紙を同封しますので郵便振替でお支払いを)
・お届けの場合は、現金か郵便振替で。
- ⑥送金先の郵便振替口座は次の通りです
・口座名：原発問題全道連絡会
・口座番号：02730-5-47617

なお、本の発送予定日は、別途お知らせします。

脱原発・自然エネルギーを すすめる苦小牧の会 ニュース

2020 年6月5日(金) 76 号
発行責任者：浦 田 操
事務所 苦小牧市末広町 1-13-13
苦小牧地区 労連 気付
Tel. 0144-33-3285 Fax. 33-3286

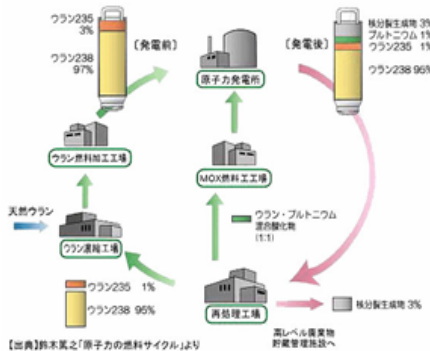
六ヶ所再生処理工場「合格」に反対する

5月13日、原子力規制委員会は
原発の使用済み核燃料からプルト
ニウムなどを取り出す、青森県六
ヶ所村の日本原燃再処理工場につ
いて、安全対策の基本方針が新規
制基準に適合すると認める審査書
案を了承しました。つまり、「合
格」書を発行したのでです。

同工場は「核燃料サイクル政
策」の中核施設です。再処理過程
では短時間で生命に危険が生じる
高レベル放射性廃液が排出され、
その廃液が蒸発してトリチウム
(年間1京ヘクレル)などの放射
性物質を拡散させないための、極
めて困難で危険な作業を行わねば
なりません。1993年に着工し、
97年には完成の予定でしたが、技
術上のトラブルや福島第一原発
事故等の影響を受け、これまで
に24回完成時期を延期し、今後
は老朽化の懸念すら生じていま
す。再処理工程は原発運転より
も難しいとさえ言われ、規制委
の「合格」が「安全」の保障で
ないことは規制委自身が言及し
ています。総事業費は13兆
9400億円に上る見通しです。
が、原資は利用者の支払った電
気料金と税金で、つまりは国民
が負担しています。

下図は日本原燃がHPで紹介
している核燃料サイクル図です。

ウラン燃料の燃焼による変化と再処理



【出典】鈴木真之「原子力の燃料サイクル」より

しかし、「核燃料サイクル政
策」は破綻済みです。またプルト
ニウムとウランを混ぜたMO
X燃料を原発で使うという「プ
ルサーマル計画」も行き詰まり
状態です。そもそも、「原子力
をエネルギー供給構造の安定性
を支える基盤となる重要なベ
ース電源」とする「エネルギー基
本計画」が破綻しているのです。
本会は15日、直ちに「合格」に
反対する声明を出しました。
経産省は6月12日までパブリッ
クコメントを募集しています。
<https://search.e-gov.go.jp/seryle/PUBLIC/CLASSNAME=PCMM/STDETAIL&id=198020202&M>
ode=0

北電株主総会 6月25日

北電は今年度の株主総会を6月25日に開くと発表しました。決算・経営計画説明会資料等は https://www.hepco.co.jp/corporate/ir/ir_lib/ir_lib-01.html をご覧下さい。

北電は、今年度は書面での議決権行使を呼びかけています。普通株式1株5円総額10億3千万円配当、B種優先株式1株150万円総額7億500万円配当など3件提案。また、送配電事業の分離に伴い、北電ネットワーク(株)を立ち上げそれを100%子会社にして電力安定供給に責任を果たすとしています。中立性や公平性を維持できるのか今後厳しく道民的に監視する必要があります。なお、「脱原発をめざす北電株主の会」は原子力事業からの撤退、再生可能エネルギー受け入れ枠の拡大など9件の議案を提案しています。

同会は25日当日、8:45から中央区大通り西8丁目札幌ビューホテル大通り公園前で、原発ゼロ基本法のリーフ配付などの宣伝行動を行います。また、「原発問題全道連絡会」が同会に連帯して当日の宣伝行動に参加します。

『大地の歌ごえ』注文受けつけます

たなかもとじ著『大地の歌ごえ』(新日本出版社)の注文のお願いを原発問題全道連絡会がしています。東日本大震災の津波で4歳の娘を失った里美と洋平夫妻。洋平は福島原発事故の廃炉作業にあたって、2年後、事故直後に生まれた息子に甲状腺異常が認められ、里美は夫と別居し東京へ避難するが、今も原発事故の被害に苦しむ人たちの連帯と家族の再生を描く感動の長編2,200円。ご注文は直接左まで。
電話(090)2071-4184
FAX(011)261-9543
E-mail: genpaturen@gmail.com

2020年度総会・記念講演



時：2020年9月20日
(土) 13:30～

所：苦小牧市民会館小ホール
講演：西尾正道北海道がんセ

ンター名誉院長(演題未定) 実施は非常に厳しい状況ですが今のところ予定通り計画中です 資料代 300円

【地域の会の活動紹介】 今月は、「脱原発・自然エネルギーをすすめる苦小牧の会」の活動の一端を同会のニュースから紹介します。

【道原発連ニュースに見る道原発連のあゆみ】第42回 今号には第172号(2007年4月18日)から第174号までを紹介します。

原発の事故隠し〜今度は制御棒抜け落ちや臨界事故 電力12社の電力不正総ざらいで、1万649件にも上る不正件数

第172号(07年4月18日)には、原発の事故隠しだけでなく、前年11月経産省が、中国電力土用ダム(岡山)のデータ改ざんや東電柏崎刈羽原発(新潟)の排水データ改ざんの発覚などを受けて、電力12社にすべての発電設備の総点検を指示、年度末の3月30日までの集計で、不正件数が1万649件に上ることが明らかにしたことを取り上げています。内訳は、原子力が458件(北海道電、四国電、九州電はゼロ報告)、火力が1207件、水力が8984件。北海道電は、原子力はゼロ、火力

206件、水力355件と報告。ところが、報告期限を過ぎた4月10日、北電伊達火発でパイプラインの重油漏れの検知装置の不正改造を、報告期限以前に把握していながら隠していた事実も明らかになっています。原発に限らず、地域独占体制だったこともあってか、全電源について日常的に事故隠しがやられていた可能性を示す集計結果であると告発しています。

なかでも原発については、制御棒の抜け落ちと臨界事故隠しが、1978年11月の福島第一の3号機から、2000年4月の柏崎刈羽の

データ改ざん問題で、原発連が北電に申入れ、「プルスーマルは敢然と進める」社長発言の撤回を求める 温排水の温度差データに疑念

第173号(07年6月7日)には、前号の電力不正問題で、道原発連が、北電に申入れたところ、北電側は「手続き不備」「データ改ざんに相当するものはなかった」と回答。これに原発連側が、伊達火発のパイプラインの重油漏れ検知装置の不正改造を長年隠蔽してきた問題を指摘し、やっと陳謝しています。ところがこ

の直前の記者会見で北電の近藤龍夫社長は、火発などのデータ改ざんを陳謝しつつ、「プルスーマル計画については、いささかも影響を受けることなく敢然と進めるべきだ」と発言しており、このことについて原発連側が「プルスーマル計画に道民合意はなく、電力不正が社会問題化している最中の発言として不適切かつ不遜

中越沖地震での柏崎刈羽原発全7基の被災を踏まえ、原発連が北電に泊原発の耐震設計や原子力防災計画の根本の見直しを申入れ

第174号(07年9月15日)では、同年7月の新潟県中越沖地震によって、柏崎刈羽原発全7機が放射能漏れを含む故障・損傷を多発した問題に関連して、原発連が8月29日、北

電に耐震設計の根本の見直しや震災時に避難できず機能もしない原子力防災計画の根本の見直しなどを申入れて、地震国日本で原発の立地そのものが誤りだと指摘、原発の集中立地の

1号機まで、10件も繰り返し起きていたという重大事故隠しが明らかになっています。まさに電力会社の事故隠し、データ改ざんは「底が見えない電力不正」(菅野一洋報告)との見出しがびったりです。“規制する側が規制される側の虜になっていた”(福島第一原発事故国会事故調報告)ことが、原発だけでなく、他の電源でも行われていたことを示す問題です。他の電源でも住民運動の側の厳しい監視が欠かせないと受け止めるべきでしょう。

なもの」と批判し、撤回を求めています。

申入れに参加した大田勤岩内町議は、泊原発の温排水の温度差調査について、道庁の測定結果が、温度差2・3℃<6・6℃とばらつきがあるが、北電の測定値は6・1℃<6・5℃とそろっている、一連のデータ改ざんから考えると信頼性に欠けるとの感想文で述べています。

危険性と脆弱性を指摘しています。福島第一原発事故の先取的な申し入れと感じます。(米谷 記)



2020年5月 原発・核燃サイクル関連日誌

5月

- 5/1 福井住民団体 関電に新型コロナで原発の運転、工事停止求める (5.3 赤旗)
- 5/2 関西電大飯原発3号機 新型コロナで定期検査延期 (5.3 赤旗)
- 5/2 環境省、除染土の再利用地で野菜の試験栽培開始へ (5.12 朝日デジタル)
- 5/13 規制委 日本原燃六ヶ所再処理工場 新規規制基準適合了承審議開始へ (5.13 朝日)
- 5/13 泊原発放射性物質放出量算定誤り 規制委保安規定違反認定** (5.13 朝日)
- 5/13 インドネシア環境活動家 日本政府に石炭火発融資止めるよう要求 (5.14 赤旗)
- 5/13 東電 福島第一2号機の使用済み核燃料取り出し用水中ロボット操作訓練公開 (5.15 赤旗)
- 5/14 日本原電 東海第2原発の「特定重大施設」東海村議会に事前確認 (5.16 赤旗)
- 5/15 経産省「電力・ガス取引監視等委員会(電取委)」を庁舎外へ (5.16 朝日)
- 5/16 北電 原発の防護服3000着を道と国へ寄贈** (5.16 朝日)
- 5/16 経産省 福島第一原発汚染水処分の意見公募を6月15日まで延長変更 (5.16 赤旗)
- 5/19 国際環境団体「Foe」がアンケート 原発汚染水 海洋放出 漁協9割が反対 (5.20 赤旗)
- 5/20 九州電力 川内原発2号機 「テロ対策施設」遅れで停止へ (5.21 赤旗)
- 5/20 原発問題連絡会ニュース 第320号発行**
- 5/22 敦賀2号機資料、原電の無断書き換え80か所に、250ヶ所超変更 (5.22 毎日デジタル)
- 5/22 原発事故処理に再エネ財源は衆院で可決 流用に道を開く電気事業法案可決
(5.25 東京新聞デジタル)
- 5/25 東海第2原発再稼働 県民投票条例に署名9万人を茨城知事へ 本請求 (5.26 赤旗)
- 5/25 東電福島第一 被ばく検査「なりすまし測定」31件 (5.27 赤旗)
- 5/27 復興庁 福島第一原発周辺に廃炉ロボット開発の研究者等5千人増計画素案 (5.28 朝日)
- 5/28 規制庁 東電柏崎刈羽原発6・7号機保安規定 再検討指示へ (5.28 朝日)
- 5/28 東北電力女川原発2号機 避難計画非現実的と仙台地裁で住民訴え (5.29 赤旗)
- 5/28 中部電力浜岡原発 7月以降に新燃料輸送 10年ぶり (5.29 朝日)
- 5/28 北電電気料金 7月から154円値下げを発表** (5.29 朝日)
- 5/28 石狩聚富望来風力発電(3.3万Kw) 環境大臣から経産大臣へ意見提出**
(環境省HP)
- 5/28 九電子会社 秋田に洋上風力発電所建設検討 (5.29 朝日)
- 5/29 東電福島第2原発 廃炉計画申請 約44年 (5.30 朝日)



【注】5月中のイレブンアクション、チェルノブイリデー、道庁北門前抗議行動等が中止に、5月5日の「泊原発を再稼働させない北海道連絡会」主催のパレードも中止になりました。